

自然情報誌

ネットワーク梵珠

Vol-33 No.10

発行/青森県立自然ふれあいセンター (第386号)

〒038-1301 青森市浪岡大字大釈迦字沢内沢1-1

TEL 0172-62-4527 FAX 0172-62-8510

URL <http://www.bonjyu-furesen.info> メールアドレス bonjyu@jomon.ne.jp

2024.10.15

～今年は豊作！？～

ブナの実(ブナ科) 樺・山毛櫨

北海道南部から九州まで広く分布するが、特に日本海側の北国に多い、落葉広葉樹。5月頃花を咲かせる。10月頃果実が熟すと、殻斗(堅いから)が4つに割れ、中に三角の実が2つ入っている。形がソバの実に似ていて、クリのような味がするので別名「ソバグリ」とも呼ばれている。実は脂肪分が多く、森の動物たちの貴重な食糧となる。



梵珠山自然観察・発見ノート

梵珠山の自然情報！○開花 △^{つぼみ}蕾 ×実 (9月中旬～10月中旬)



植物

木 本 ×ブナ×サワグルミ×ミズナラ×トチノキ×オニグルミ×クリ×ホオノキ×ミズキ×スギ×ウリノキ×ハリギリ×ナナカマド×ウワミズザクラ×アキグミ×オオカメノキ×ガマズミ×ミヤマガマズミ×カンボク×ウメモドキ×ヤマボウシ×ハクウンボク×クサギ×マユミ×コマユミ×エゾツリバナ×イチイ×ハイイヌツゲ×ハイイヌガヤ×サンショウ×ツルシキミ○×ヒメモチ×ヒメアオキ×アクシバ×ウスノキ×サワフタギ×リョウブ×ツノハシバミ×ノブドウ×ヤマブドウ×カラマツ×コシアブラ×オオバボダイジュ×シナノキ×ヤブコウジ×キブシ×シウリザクラ×ハウチワカエデ×ヤマモミジ×サルナシ×マタタビ

草 本 ○ジャコウソウ○サラシナショウマ○キバナアキギリ○ノコンギク○ノゴマ○オオアキノキリンソウ○オクトリカブト○アキノウナギツカミ○ハナタデ○イヌタデ○ミゾソバ○ミズヒキ○ツリフネソウ○キツリフネ○シロバナツリフネソウ○ケチヂミザサ○トチバナニンジン○ヌスビトハギ○ヒメクグ○オオバコ○ヌカキビ○スズメノヒエ○エゾニュウ○ゲンノショウコ○クマババナ○ススキ○キンエノコロ○アキノエノコログサ○カワラナデシコ○×ツルリンドウ×マイヅルソウ×ユキザサ×オオウバユリ×カラハナソウ×トチバナニンジン×ミヤマナルコユリ×ツルアリドウス×ノブキ×クマユリ×コウライテンナンショウ×ツクバネソウ×タチシオデ

シダ類 コタニワタリ・シシガシラ・シノブカグマ・ミヤマイタチシダ・イヌガンソク・オシダ・カラクサイヌワラビ・サカゲイノデ・サトメシダ・ゼンマイ・ホソバナライシダ・ミゾシダ・ヤマイヌワラビ・ワラビ

コケ類 ネジクチゴケ・フロウソウ・トヤマシノブゴケ・コツボゴケ・エゾチョウチンゴケ・イチイゴケの仲間・クサゴケ・オオトラノオゴケ・キヌイトゴケ・ネズミノオゴケ・オオギボウシゴケモドキ・エダウロコゴケモドキ・オオスギゴケ・ハミズゴケ・コセイタカスギゴケ・トサホラゴケモドキ・エゾミズゼニゴケ

きのこ ヌメリスギタケモドキ・タマゴタケ・キヌガサタケ・カバイロツルタケ・アイタケ・コウモリタケ・シロオニタケ・マスタケ・カエンタケ

野鳥

クマタカ・ノスリ・チゴハヤブサ・キジバト・アオバト・ツツドリ・アオサギ・ダイサギ・オオアガゲラ・アカゲラ・コゲラ・アオバト・ウグイス・モズ・カケス・カワガラス・キセキレイ・シジュウカラ・ゴジュウカラ・ハシブトガラス・ツバメ・エナガ・ルリビタキ・ホオジロ・ヤマガラ・トラツグミ

哺乳類

ニホンザル・アナグマ(第2駐車場9/22)・ツキノワグマ(サワグルミの道周辺9/28)ヒメネズミ(センター周辺9/30)キクガシラコウモリ20頭(9/27)・キクガシラコウモリ17頭(10/3)タヌキ(10/8)・ニホンリス(10/9)

昆虫

オニヤンマ・オオルリボシヤンマ・ノシメトンボ・アキアカネ・マユタテアカネ・ミヤマカラスアゲハ・キアゲハ・スジグロシロチュウ・ベニシジミ・ミドリヒョウモン・メスグロヒョウモン・コムスジ・サカハチチョウ・ルリタテハ・アカタテハ・クロヒカゲ・ヤマキマダラヒカゲ・ヒメウラナミジャノメ・ダイミョウセセリ・セセリチョウの仲間・イカリモンガ・エゾゼミ・コバナイナゴ・ハネナガイナゴ・ヤブキリ・クサキリ・ミカドフキバツタ・オオスズメバチ・オオカマキリ

両生類

クロサンショウウオ・アズマヒキガエル・モリアオガエル・ヤマカガエル

爬虫類

アオダイショウ・マムシ・ヤマカガシ・シロマダラ(幼体)ニホントカゲ・カナヘビ

その他

モクズガニ

*最新の自然情報については気軽にスタッフにお尋ねください。



【梵珠山周辺の自然】



木々の葉が紅色や黄色く色づき始める季節となりました。梵珠山の紅葉は、順調に進んでいるようです。今年も例年通り、10月下旬～11月上旬頃見頃を予想しています。
ナナカマド、ツタウルシ、オオカメノキ、ヤマブドウなどの葉は真っ赤に紅葉しています。



キバナアキギリ 9/22



サラシナショウマ 10/4



ミヤマガマズミ 10/4



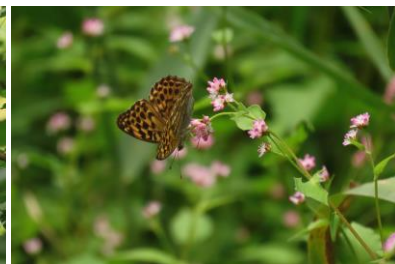
ガマズミ 10/4



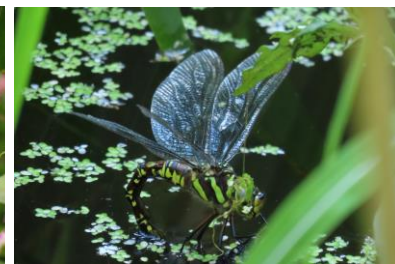
カンボク 10/4



キジバト 9/21



ミドリヒョウモン 9/21



オオルリボシヤンマ産卵 9/20

ナラ枯れ被害が確認されました！



駐車場の向かいのアカゲラの道の斜面にあるミズナラが、ナラ枯れ被害に遭いました。

ナラ枯れは「カシノナガキクイムシ」という体長4～5mmの小さな虫が媒介するナラ菌によってナラ等が集団的に枯損する伝染病で、全国的に被害が発生しています。

県内では、平成22年度に深浦町で確認されて以来、年々被害が拡大し、令和5年度には被害が平内町まで広がり、約25,000本の被害木が確認されています。

この被害は高齢大径木に多く、私たちの生活様式の変化により、木炭が日常的に使われなくなって伐採されずに放置されたナラ等が大径化して、虫の繁殖に適した環境となったためと考えられています。また地球の温暖化による影響も指摘されています。

県では、被害木の伐倒、燻蒸処理や誘引捕殺等の駆除対策を行っていますが、梵珠山においても今後倒木の危険性や生態系への影響が心配されるところです。



根元に溜まったフラス(木くず)

9月の日曜観察会

開催日(9月15日:晴)

○講師 長尾キヨさん「秋の花を楽しもう」 ○講師 齋藤信夫さん「一緒に生えている植物10種②」



○講師 太田正文さん「コケの観察⑥」 ○講師 針生倅吉さん「初秋の森で探しましょう」



○講師 鳴海富美子さん「初秋の昆虫の観察」



どこにいるかわかるかな?

お知らせコーナー

これからの行事

- *11月3日(日)午前「自然まるごと発表会」自然を愛する方々の自由な発表会です。午後は、峰下 耕氏による特別講演会「東北のコウモリ～市民化学でわかったこと～」を開催します。
- *11月17日(日)「日曜観察会⑧」講師は、齋藤信夫さん(シダ植物)太田正文さん(コケ植物)針生倅吉さん(野鳥)工藤忠さん(昆虫)です。
- *12月 8日(日)「クラフト教室～正月飾り～」自然素材を使ったクラフト教室。

サポーターズ活動

- *10月のサポーターズ隊活動は、側溝土砂上げ作業と落葉清掃です。日時:令和6年10月23日(水)時間は9:30分から12時まで。どなたでも気軽に参加できます。

センターより

- *アーティスト鴻池朋子さんの皮絵が、サウグルミの道3合目六角堂に追加で展示されました。地元中学生とのコラボ作品でもあります。梵珠山登山の際には是非お立ち寄りください。



六角堂の天井に展示されている皮絵